

〔様式 1〕

事務事業評価表

記入年月日	平成16年4月22日			
平成16年度	事業コード	12220	電話	042-769-8345
担当部課名	保健所	地域保健	課	母子保健企画 班
事務事業名	小児慢性特定疾患医療助成			
予算上の事務事業名	小児特定疾患医療事業（地域保健課分）			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	市民健康づくりの推進	15年度
施策名	第2施策	保健サービスの充実	

2 実施根拠及び関連法令等

小児慢性特定疾患治療研究事業について（昭和49年5月14日 厚生省発児第128号 厚生事務次官通知）
相模原市小児特定疾患研究事業実施要綱

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

義務的経費

5 事務事業の分類

国庫補助 上乗せ単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2)対象(誰、何)	
特定の疾患に罹患しているお子さんについては、その治療が長期間にわたり、医療費の負担も高額になり、これを放置することは、児童の健全な育成を阻害することとなるため、入院等にかかる費用を保護者に代わり負担し、患者家庭の医療費の負担軽減に資することを目的とする。 本事業は、平成15年4月1日中核市移行に伴い県から移管した事業である。		小児特定疾患に罹患した児童	
		対象数	単位
		1,816	人
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容			
相模原市小児特定疾患研究事業実施要綱に基づき小児特定疾患医療費の給付を行った。 ・申請件数 1,816件 ・給付件数 7,465件 ・決算額 114,108,554円 報償費 224,000円 委託料 290,955円 旅費 2,420円 扶助費 112,787,464円 需用費 69,734円 役務費 733,981円			
(4)個別計画の概要		概要	
計画名			
計画年次	年度～	年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				13	14	15	16	17
成果指標								
活動指標	申請件数	件数	疾病に罹患した児童の把握			1,816		

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
	決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
事業費			114,109	152,062	152,062
人員・時間数			1.0	1.0	1.0
人件費			8,010	8,010	8,010
その他経費					
合計	0	0	122,119	160,072	160,072
特定財源			31,523	71,271	71,271
対象数(人)			1,816	1,900	1,900
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	67,246.1	84,248.4	84,248.4

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	制度内の数値をもって目標とすべき類のもでない。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 次世代育成の観点から子育てし易い環境の整備を図るため必要である。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		保護者の経済的負担の軽減、児童の健全な育成に寄与している。
		説明	
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 適正な支出に努めている。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	対象疾患の設定は、国により決定されている。
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	
業務の電算システム化を図り、効率化に努めている。		法制化に伴う規則の制定及び給付対象者、医療機関への周知について	

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較 国の制度で内容的に差はない。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	本事業については、継続する必要があるが、自己負担額の導入、疾患の見直し、重症度による認定等の改正が、予想されており、より適正な執行が望まれる。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	
<input type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

--